

あなたが選ぶ
紀州材の家
作品集・2010





あなたが選ぶ 紀州材の家 作品集・2010

今回紹介する作品は、最優秀賞、優秀賞を含む
一次審査で選考された16作品です。

- 04 【最優秀賞】
ライトコートの家●HAL工房設計室
- 06 【優秀賞】
呼吸する家●株式会社 高松工務店
- 08 【優秀賞】
野中の山の木で建つ家●中村伸吾建築設計室

- 10 朝霧の里の家●中村工務店
- 11 ありだの里の家「温故知新」●前建設工業
- 12 木の国「囲炉裏」のある家●有限会社 柏木設計
- 13 吉備に建つ小さな住まいと工房●熊代建築設計事務所
- 14 串本の温もりのある家●有限会社 南建設
- 15 熊取の家●瀧川建築デザイン事務所
- 16 熊野の丈夫な家●若林建築
- 17 高松の家●和新・設計事務所
- 18 時を経て、なおいちいを増す。古民家ログハウス「八咫鳥」●速民製材
- 19 土間を楽しむ家●協同組合 紀州産直住宅
- 20 中庭に池のある家●想建築工房
- 21 6層構造の2世帯住宅●国土建設株式会社
- 22 路地のある家●株式会社 田淵建築設計事務所



わかやま木の家コンテスト 2010 【あなたが選ぶ紀州材の家】概要

目的

紀州・木の国の大地に生まれ生産される紀州材は、古くから目込みが良く、強度・耐久性に優れ、その上、色合いや香りがよい、良質な木材として評価されてきました。
わかやま木の家コンテスト2010「あなたが選ぶ紀州材の家」は、この良質な紀州材の特性を活かした家を表彰することで、紀州材による住宅建築を促進し、ひいては需要拡大による地域の森林・林業の活性化を図ることを目的としています。

応募住宅の条件

1. 和歌山県産木材「紀州材」を使用した新築住宅。
2. 戸建て住宅、集合住宅、併用住宅、別荘など個人が居住することを目的とした住宅。

応募資格

応募する住宅建築に直接関係した県内の事業者（設計者、施工者など）。

審査方法

- (1) 一次審査
 - ・ 紀州材の特性を活かし、紀州材の需要拡大に寄与していることを審査基準に選考
 - ・ 建築関係者、行政関係者、森林・林業・木材産業関係者により審査選考
 - ・ 選考数は、全県枠4作品、県内3地域に分けた地域枠10作品、県外に建築された県外枠2作品の合計16作品
- (2) 二次審査
 - ・ 一次審査で選考された16作品を県内各地で一同に展示し、県民による一般投票を実施
 - ・ 二次審査の得票数により各賞を決定

主催：和歌山県

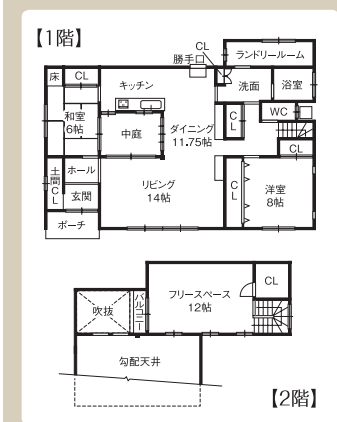
協賛：紀北流域林業活性化センター
紀中流域森林・林業活性化センター
紀南流域林業活性化センター



仁坂吉伸和歌山県知事と2010年度のコンテスト受賞者



リビングの吹き抜けを中心に、家族の
気配がどこにいても感じられる室内。



【DATA】
 設計 ● HAL工房設計室 溝口 健彦
 田辺市朝日ヶ丘18-4
 TEL.0739-26-7440
 施工 ● 株式会社 高松工務店
 紀州材納材 ● 株式会社 伸栄木材



ライトコートの家

【田辺市】



【HAL工房設計室】

である木目の美しさが、いつも目を
楽しませてくれます。
 素足でそと床の上を歩き、寝
 転がって勾配天井を眺め、目を閉
 じる…。背中から感じる木の温も
 りと、鼻をくすぐる紀州材の香り
 に包まれ、まるで自然の中にいる
 かのような気持ちになります。
 「ただいま」――。玄関を開け
 ると広がる香りに、思わず口にし
 てしまふ。ライトコートのある家
 は、家族のように住む人を支え、
 優しく包み込んでくれます。

玄関を抜け、リビングルームに
訪れると現れるライトコート（中
庭）。そこから差し込む日の光
が、家族のくつろぎの場所に安ら
ぎを与えています。
 太鼓梁とヒノキの大黒柱がぐっ
と空間を引き締め、壁際のカウ
ンターや天井のシーリングファン
は、和に捉えられがちな木の家を
モダンに。玄関、床、和室の天井
に至るまで、随所に紀州のスギ無
垢材を用い、その持ち味のひとつ





吹抜上部のキャットウォークから1階まで明るい陽射しが降り注ぎ、木の温かみと相まって全体にやさしい雰囲気漂わせている

呼吸する家



[西牟婁郡上富田町]

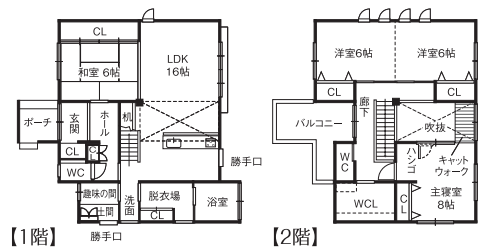
自然に近い家造りを取り入れた家は、夏は涼しく冬は暖かい。冷暖房機器に頼らずとも快適に過ごせて、いずれの部屋も心地よく寛げる空間となりました。

コンセプトは「呼吸する家」。家を構成する木が空気を通しやすいうように、透湿性のあるクロスとシラス壁を使用し、「家全体が呼吸している」ような空間を目指しました。

寝室と廊下にはスギ無垢板を、リビング・ダイニングにはスギ熱圧床板を使用。そして2階ロフト手摺りにはスギ赤無垢を使い、手で触れる所からも木の温もりを感じる事ができます。

2階キャットウォークからは優しい光が差し込み、家の中心となるリビングで住人が「人の温もり、木の温もり」を感じられる家になりました。

【株式会社高松工務店】



[DATA]

施工●株式会社 高松工務店
西牟婁郡上富田町市ノ瀬2504-39
TEL.0739-48-8139
<http://www.takamatsukoumuten.com/>
設計●HAL工房設計室 溝口 健彦
紀州材納材●株式会社 伸栄木材

天窗から差し込む光を受ける2階の書斎コーナーには、長い天板を持つ造り付けの机を設置。机の足元を取納とした使い勝手の良い空間となっています



野中の山の木で建つ家



[和歌山市]

生まれ育ったふるさととの山から伐りだした木から生まれた家。普段隠すものをあえて見せる「あrawし」によって、内部の柱や梁、床板などが見せられ、圧迫感のないすっきりとした空間となっています。軒先を十分に出し日差しを制御することで、風の通り道を確保すること、大きな空間を作り断熱は家全体で考えるなどの基本を踏まえつつ、通常の2倍の木材量を使うことで、室内の調湿体・蓄熱体を確保しているのが最大の特徴です。施主さんが「冬場のどんなに寒い日でも、暖房器具なしで室内温度10度を下回ることはない」と語る設計は、気密や部屋単位の断熱に囚われ、結局機械なしでは過ごせない現代住宅の欠点を補っています。暖かな日差しが注ぎ込み、故郷の山に抱かれているような安心感が空間を満たしています。

【1階】

【2階】



【DATA】

設計 ● 中村伸吾建築設計室
田辺市新万29-24
TEL.0739-24-3824
<http://www.n-shingo.net>

施工 ● 有限会社 新藤工務店
紀州材納材 ● 建築主
製材 ● 株式会社 山收木材



朝霧の里の家

〔田辺市〕

朝は霧に包まれ、見渡す限り雲海となる「朝霧の里の家」。プレートカット組みではなく、大工さんによる昔ながらの指矩、墨差による伝統的な墨付けで建築しました。

玄関に入って目に付くのは無垢檜の框と式台、視線を上に向けてと桧の8寸角大黒柱が鎮座しています。床には桧縁甲板、腰には杉

幅広腰板、また洗面入り口には杉1枚板扉を使用しました。和室には式間もの欄間を施し、天井は落ち着いた竿縁天井、床の間は言間床にしています。

紀州材を通常の家の約1・5倍使用し、本格的和風建築を造りました。

〔中村工務店〕



〔DATA〕

設計●前建設工業
有田郡有田川町天満337-1
TEL.0737-52-7408
http://www.maekensetu.com/
施工●前建設工業
紀州材納材●株式会社 山長商店

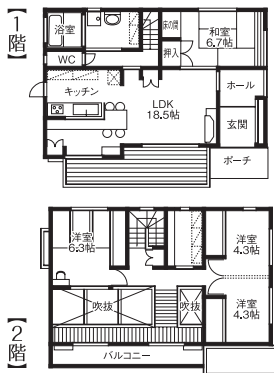
ありだの里の家「温故知新」

〔有田郡広川町〕

「古民家のように」という希望に応え、古民家本来の良さを残しながら、現代の生活に必要な要素を調和させることをコンセプトにしました。四季を通して変化する気候に応じて造られてきた日本の家。そこに快適性、機能性、耐久性といった分野で現代の技術が活かされています。

紀州材で造られた古民家調の空間はどこか懐かしさと呼び起し、ほっとした気持ちに。「故きを温ね、新しきを知る」。古くからの良さを保ち、新しいものへと繋げた家は、今も昔も変わらない紀州の木が支える心地よいものになりました。

〔前建設工業〕



〔DATA〕

設計●前建設工業
有田郡有田川町天満337-1
TEL.0737-52-7408
http://www.maekensetu.com/
施工●前建設工業
紀州材納材●株式会社 山長商店



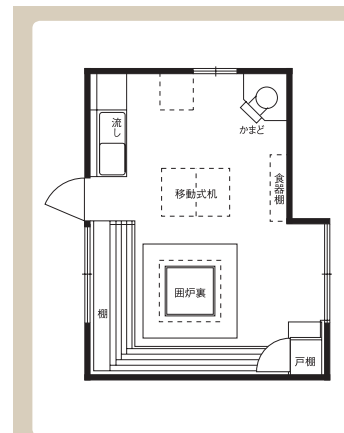
木の国「囲炉裏」のある家

〔日高郡日高川町〕

ご飯をかまどで炊き、囲炉裏で魚を焼いて食べたいという施主さんの要望を叶えるべく設計しました。ここは施主さんが長年離れていた生家。懐かしさだけでなく、夢も広がる家を実現しました。木の家を象徴する玄関を入つてすぐの空間は、大きな窓から庭が見渡せ、天窓からも光が差し込み

ます。そこに多くの人が集える囲炉裏を配置。部屋に充滿する煙は天窓から排出できます。開放感を確保しつつ、土間下や、二重にした野地板の間に断熱材を入れ、暖かさをキープ。快適に、そして心も豊かに暮らせる家になりました。

〔有限会社 柏木設計〕



〔DATA〕

設計 ● 有限会社 柏木設計
 柏木 伸彦
 御坊市湯川町小松原502-4
 TEL.0738-23-2319
 施工 ● 株式会社 古部組
 紀州材納材 ● ヤナセハウスシステムズ株式会社

吉備に建つ小さな住まいと工房

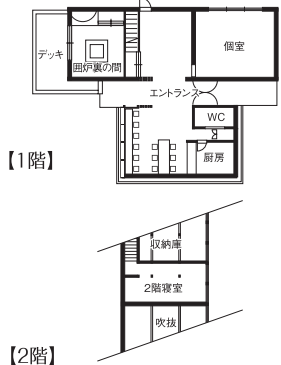
〔有田郡有田川町〕

定年退職した施主さんの夢を叶えた紀州材の住まいは、素晴らしい景観を持つ敷地に合う現代的和風建築。趣味のボン酢つくりと同時に、食を楽しむ体験施設も兼ねた工房は、窓から光を取り込み落ち着いた空間となっています。

1階から2階にかけて吹き抜け空間を創るため、中央に剛性を持

たせるセンターコア構造を採用。広く、大きな空間を確保しながらも強さを備えています。絶景を臨み、日本らしい囲炉裏や床の間を配した住まいと工房は、訪れた人々を温かく招いてくれます。

〔熊代建築設計事務所〕



〔DATA〕

設計 ● 熊代建築設計事務所
 和歌山市ト半町21 木原ビル
 TEL.073-423-5421
 http://www.k-kumashiro.com/
 施工 ● 三洋住宅 株式会社
 紀州材納材 ● 有限会社 南方木材



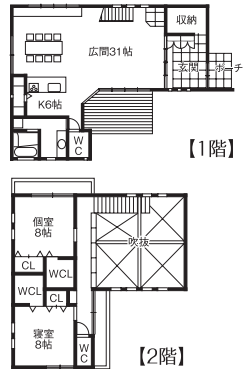
熊取の家

〔大阪府泉南郡熊取町〕

休日には息子さん一家が集まり、催事のたびに人が集まる機会が多いという施主さんの声に応え、「集い」をテーマにした家。緑豊かな環境に溶け込む家は、全面スギ板貼りの31帖の広間を持ち、一番日の当たる場所にリビングを配置しています。

イトチ材の一枚板テーブルが置かれ、吹き抜けの天井には紀州熊野材の太鼓梁。木の良さを十分に味わえる空間となっています。家族が広間に集まり、薪ストーブの穏やかな火にあたり、にぎやかに談笑する姿が目に見えます。

〔瀧川建築デザイン事務所〕



〔DATA〕

設計 ● 瀧川建築デザイン事務所
和歌山市新中通1-16
TEL.073-427-6310
http://www.d1.dion.ne.jp/~takiad/
施工 ● 有限会社 武田建設
紀州材納材 ● 有限会社 田中木材通商

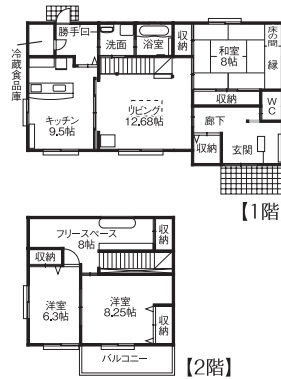
串本の温もりのある家

〔東牟婁郡串本町〕

この家に込めたのは「家族が笑顔で健康に暮らせる家を作りたい」という想いです。家の中は光に包まれた明るい空間になりました。

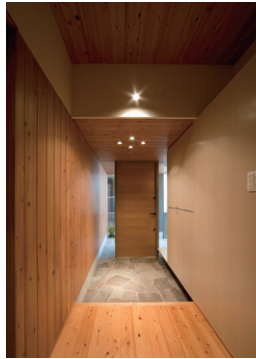
リビングの天井は吹き抜けにして開放感を持たせながらも、断熱工法にこだわり、冬は暖かさを保ち夏も涼しくと1年中快適に暮らせるよう配慮しました。また湿度調整にも優れている紀州材の杉や桧をふんだんに使用しています。断熱による温かさはもちろん、構造材や仕上げ材にも紀州材を用いたことで、見た目にも温かさを感じられる木の家に仕上げました。

〔有限会社 南建設〕



〔DATA〕

設計 ● 有限会社 南建設
東牟婁郡串本町串本663-1
TEL.0735-62-3211
施工 ● 有限会社 南建設
紀州材納材 ● 株式会社 山長商店



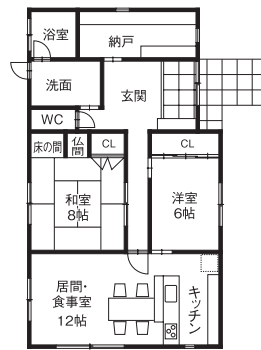
熊野の丈夫な家

〔東牟婁郡那智勝浦町〕

「風当たりが強い場所なので丈夫な木の家にしたい」という要望に応えるため、紀州材の中でも樹齢、切り匂や目込などから良い材を選び抜きました。構造材の土台や柱には桧材、それ以外は杉が安心して快適に暮らせる家造りを目指し、骨組もプレカットではな

く、手刻みで通し貫や開口部には角材を入れるなど、伝統的な骨組を造り上げました。耐用年数百年以上を目標に紀州材の魅力に負けない気持ちで造りました。なお造園工事を施すことで、日当たりを確保しつつも、家の中が外からの視線に晒されることのないようにと配慮しました。

〔若林建築〕



〔DATA〕
 設計 ● 若林建築
 新宮市佐野916-6
 TEL.0735-31-7017
 http://www.18.ocn.ne.jp/~wakaken/
 施工 ● 若林建築
 紀州材納材 ● 株式会社 シングハウジング

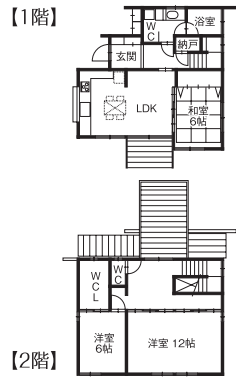
高松の家

〔和歌山市〕

片流れの屋根、それにより生まれた空間にロフトを配し、ロフトに設けられた大きなハイサイドウィンドウからは陽光が降り注ぐ。狭小地に建てられた家は、構造体である柱や梁を意匠として利用することで、ローコストを実現。環境を考慮して採用された太陽光発電システムのパネルが屋根に

設置されています。玄関から続く壁、寝室やリビングに多く使用された、数百年の陽光を受け続けた「紀州材」から発せられる「気」が、住む人を優しく包み込み、住まうほどに「家族愛」を育み続けていく家となりました。

〔和祈・設計事務所〕



〔DATA〕
 設計 ● 和祈・設計事務所
 御坊市湯川町財部928-3
 TEL.0738-23-1753
 http://www.7.plala.or.jp/washin-ao/
 施工 ● 株式会社 宮本工業
 紀州材納材 ● 株式会社 伸栄木材



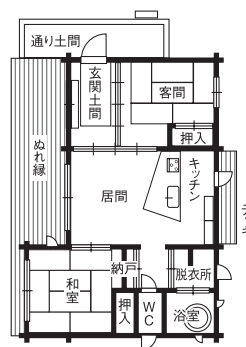
時を経て、なお味わいを増す 古民家ログハウス「八咫鳥」

〔栃木県芳賀郡芳賀町〕

コンセプトは「ログハウス×古民家×国産材」。誰も見た事がないログハウスを建築しました。八咫鳥で知られる熊野の松をふんだんに使用し、濃い茶色で統一した空間は、シックで落ち着いた雰囲気になりました。全般に漆喰壁や大谷石といった天然素材を用いて仕上げています。特徴的な台

形のキッチンはデザイン性だけでなく機能性も追求。造り付け家具や建物の外観も、内部の空間と統一感を持たせており、ログハウスながらも古民家らしい、深みある和のテイストを存分に醸し出しています。

〔速民製材〕



〔DATA〕
 紀州材納材 ●速民製材
 新宮市王子町2-6-8
 TEL.0735-22-5683
 設計 ●手塚大介、星野利明
 施工 ●株式会社 ビックボックス

土間を楽しむ家

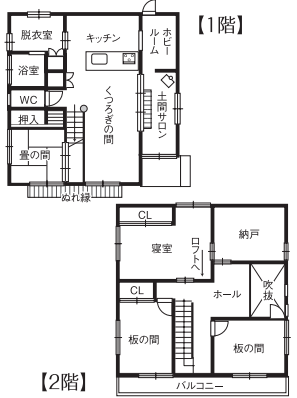
〔和歌山市〕

日本の伝統的な建築には欠かすなかつた土間。この家は、現代建築では意味を失いつつある土間を楽しむことをテーマに設計しました。

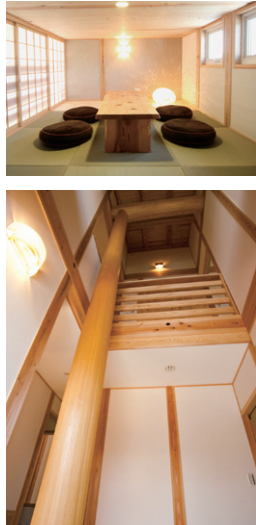
夏は土間を通るひんやりとした風で涼み、冬には土間に置かれた薪ストーブを囲む。刻々と移り変わっていく自然を肌で感じるこ

のできる土間で家族団欒のひとつを過ごし、一段上がった部屋へと上がると包まれるのは紀州材の香り。ふんだんに使用した紀州材で快適な暮らしを創り出した家は、長期優良住宅の認定を取得しています。

〔協同組合 紀州産直住宅〕



〔DATA〕
 設計 ●協同組合 紀州産直住宅
 日高郡美浜町田井419
 TEL.0738-32-2266
 http://k-sanchoku.com/
 施工 ●協同組合 紀州産直住宅
 紀州材納材 ●ヤナセハウシステムズ株式会社



中庭に池のある家

〔和歌山市〕

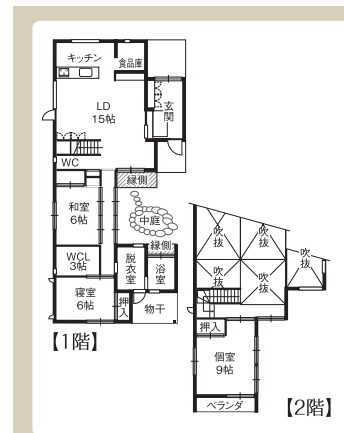
こちらの家は、間もなく定年を迎える建主さんが終の住まいとしてこだわり抜かれた住宅です。この家最大の特徴は、「鯉の寝床」と呼ばれる奥行き深い敷地の中央に「池のある中庭」を設け、その庭を中心として周りに部屋を配置した点にあります。

これにより、リビング、お風呂

呂、和室と、家のどこにいても庭の景色を楽しむことができるのです。

光が射し、風が通り抜けるのを十分に感じることでできる気持ち良さ、木の醸し出す温かみと共に住む人の心を和ませ、落ち着いた雰囲気漂う家になりました。

〔想建築工房〕



【1階】

【2階】

【DATA】

設計●想建築工房 山中 淳
和歌山市塩屋5-4-26
TEL.073-445-7776
http://site-sou.com/
施工●有限会社 武田建設
紀州材納材●有限会社 田中木材通商

6層構造の2世帯住宅

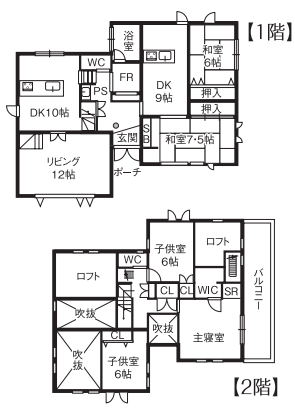
〔和歌山市〕

家族の想いに適う、遊び心あふれる6層構造の家。部屋ごと区画ごとに高さを変えるスキップフロアを使い、限られたスペースの中に最大のこだわりである収納空間をふんだんに盛り込んでいます。柱や梁には紀州杉材を使い、内装材に珪藻土・紙クロス、床にはパイン無垢材を採用した調湿に優れ

る快適な住環境。和モダンな造りの5層目のロフトからは、リビングやダイニング、天井までを広く見渡せます。

玄関に悠然と構える丸太柱は子どもの背丈を刻む昔ながらの場所。家族の成長を見届け、集まる人を見守る安らぎの住まいです。

〔国土建設株式会社〕



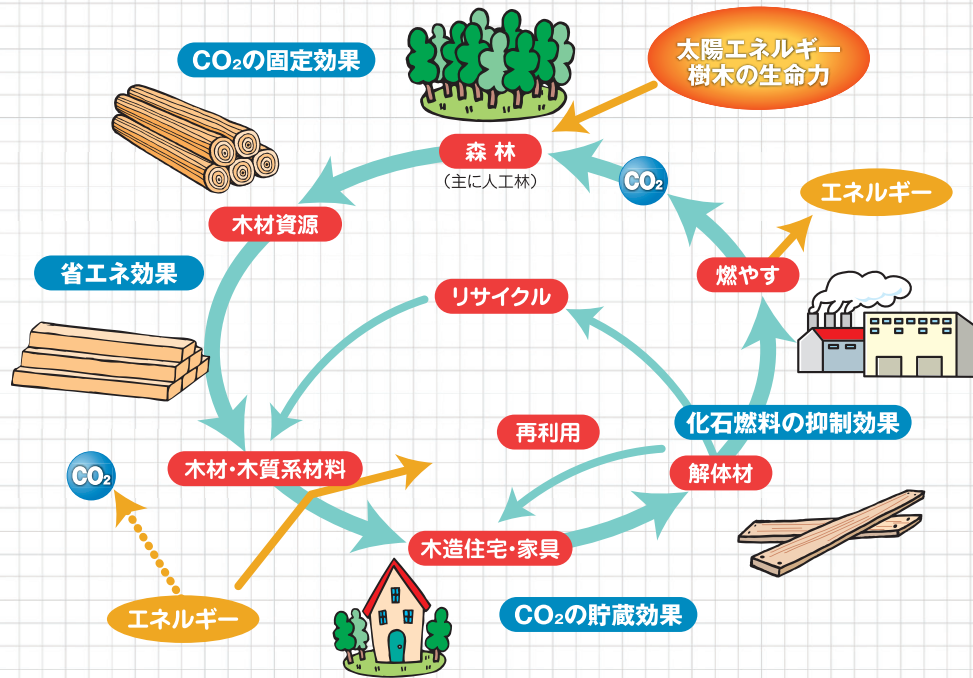
【DATA】

設計●国土建設株式会社
和歌山市手平4-6-70
TEL.073-426-5669
http://www.kokudo-kensetsu.co.jp/
施工●国土建設株式会社
紀州材納材●株式会社 山長商店

木の家は、街の中で 再び森になります。

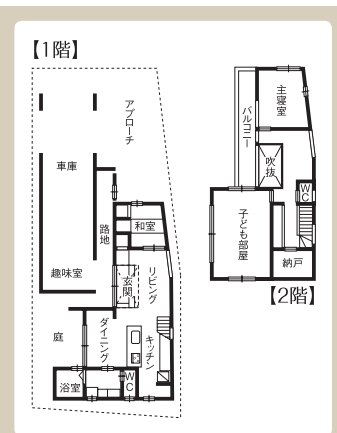
自然の恵みである「木」は、再生可能な循環型資源です。

森の木は、大気中から二酸化炭素(CO₂)を取り込み、固定していきます。伐採・製材され、柱や梁など建築用材として使われた後も、炭素はそのまま木材の中に蓄えられるため、「木の家」を建てると街の中に「第2の森」を作ることになります。森林を正しく管理し、木材を活用し、植林をする。こうしたサイクルの継続が、山村の雇用創出、環境の保全や水源のかん養など、森林の持つ永続的な有用性に貢献します。国産材の家が建ち並ぶ街と山村のより良い共生は、これからの私たちの生活を支える基盤となっていくでしょう。



路地のある家

大胆にも家中央に陣取るのは、家の中にあるはずのない「路地」。これは建主の趣味である車を展示し、鑑賞しながら家族や友人たちと語らえる趣味のスペースを実現するために作った空間です。愛車を展示するガレージの横に趣味室を配置し、リビングにつながる空間として路地を設け、趣



味のスペースを住空間に取り込み一体感を持たせました。また、「自然素材に囲まれた空間」を目指し、壁には珪藻土を、家具や床、棚などには紀州材の杉や桧などの天然木材を使用しました。時と共に深みを帯びた建物になるよう願っています。

【DATA】
 設計 ● 株式会社 田淵建築設計事務所
 和歌山市築港4-2-1
 TEL.073-431-0261
<http://www.nnc.or.jp/~kida/>
 施工 ● 株式会社 新家工務店
 紀州材納材 ● 清水森林組合

「和歌山市」



和歌山県農林水産部 森林・林業局 林業振興課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL.073-441-2968 / FAX.073-433-1037

【紀州材ホームページ】<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070600/kishuzai/index.html>